

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 第47回食生活アドバイザー検定を受験いただく皆様

開催にあたりできる限りの対策を講じてまいりますが、受験者の皆様におかれましても、以下の対応についてご理解とご協力をお願いいたします。

1、セルフチェックの実施

- 試験日当日の朝に検温し、37.5℃以上の発熱がある。
- のどの痛みや、咳、強いだるさ、息苦しさ等の症状がある。
- 2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性と診断されている人と会った。
- 2週間以内に、海外への渡航歴がある、またはそのような方との濃厚接触がある。
- 同居している人が上記いずれかの項目にあてはまる。

※上記の内容に1つでも当てはまる場合は、来場・受験をご遠慮ください。

2、マスクの着用

試験会場内では、必ずマスクを着用してください(マスクはご自身でご用意してください)

※マスクを着用しない方は来場・受験をお断りする場合があります。

3、来場時の手指消毒

試験会場内に消毒液を設置していますので、来場の際には手指消毒をお願いいたします。

4、換気の実施

- 試験会場内の換気を目的に、試験中に扉の開放、窓を開けられる所では窓を開け、換気扇がある所では換気扇を使用します。それに伴う音等の影響について、あらかじめご了承ください。
- 教室内の換気に伴い寒暖の調整がしやすい服装でお越しください。

5、会場における対策

- 試験監督者や補助スタッフは試験当日の出勤前に検温し、体調に問題がないことを確認したうえで対応いたします。
- 試験監督者や補助スタッフはマスクを着用し、手洗いや手指の消毒を徹底いたします。
- 座席はできる限り間隔を設けます。
- 3級受験終了後から2級の受験者様が入室するまでに机の消毒を行います。併願受験で午後も同じ席を使用される方につきましては、個別にお声がけさせていただきます。
- 混雑緩和のために入退場での整理が行われた場合は、スタッフの指示をお待ちください。受験者の皆様も混雑緩和のために入退場では密集・密接にならないようご協力をお願いいたします。

6、受験者の皆様へ

- 会場で体調不良になった場合は、直ちにその旨を申し出てください。
- 咳エチケット、手洗い・手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保等、各自での感染防止対策に十分留意してください。
- 答案用紙を提出し途中退室した場合は、速やかに会場から退出してください。

- 試験会場内では私語は慎んでください。
- 試験会場内で出たゴミは全て各自でお持ち帰りください。
- 試験が実施されない(中止)場合は受験料を返金いたしますが、それ以外ではいかなる理由でも受験料の返金や次回への振替はできません。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受験者様ご自身の判断で下記の持込み使用することを許可いたします。ご使用の際は、教室内にあります試験監督者に提示をお願いします。使用後は各自でお持ち帰りください。

- ・フェイスガード(透明)
- ・ビニール手袋(透明)
- ・除菌シート(無地・透明の容器に入れてください)
- ・消毒液(無地・透明の容器に入れてください)

その他

- 混雑緩和のため試験会場で来場時の検温はございません。ただし一部の会場においては建物入場時に検温のご協力をお願いする場合がございます。
- 試験中、激しい咳や体調不良等の症状が見られる受験者様には、受験のお断り、座席の移動等をお願いすることがあります。
- 受験者様の中で感染者が判明した場合は、受験申込時に提出した個人情報を必要に応じて保健所等の公的機関に提供する場合がございます。